

情報を寄せてください

副会長 工藤芳昭

新年おめでとうございます。
昨年は我々零細業者にとつて悪法が次々と成立いたしました。一番許せないのは消費税の増税と多くの有識者も反対していた秘密保護法の成立です。このような国民いじめの悪政に対抗す手段は我々業者が力を増して団結して、立ち向かうしかありません。そのためには何としても拡大が必要です。新聞読者の目標達成はみなさんの協力で連続76か月継続中です。これからは会員の数が大事です。「新しいお店が出来たよ!」「こんな友人がいるよ!」など、情報を寄せてください。よろしくお願ひします。

健康増進や親睦を図る取組を旺盛に

副会長 月田照巳

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。
昨年は共済部会としての年間の運動は、共済会員の拡大、健康診断の受診の促進、健康講座などを開催してきました。春には、久しぶりに日帰り旅行を行い、参加者からは「とても楽しかった」「またやってほしい」との声があまりました。今年も、会員の皆さんの健康増進や親睦を図る取組を旺盛に行っていきます。みなさんぜひ、検診を受けて元気で、民商のレクリエーションにも参加して、商売も頑張っていきましょう。

面倒でも継続する事

副会長 桑島靖雄

あけましておめでとうございます。
今年より、「改悪」国税通則法が完全施行され、全ての白色申告者に「記帳・帳簿の保管」が義務付けられました。もとより、記帳は強制されてやるものではなく、商売の実態を数字でつかみ、経営に生かすものです。ドンブリ勘定ではなく、家計との整合性についても検討しましょう。民商では、パソコン記帳にも取り組んでいます。最初は、面倒でも継続することで記帳が面白く、楽しくなったという声もあります。がんばりましょう。

厳しい状況の中、潮目は変化している

(大商連第67期第2回理事会討議資料情勢より)
7月〜9月のGDPは前期比1.9%増にとどまりました。4月〜6月の3.8%増、1月〜3月の4.3%増から伸び率は大きく縮小しています。とりわけ、成長エンジンの設備投資は0.2%増、個人消費は0.1%増、輸出は0.5%減と、そろって横ばいかマイナスで、アベノミクスは早くも急降下です。

伸びたのは民間住宅2.7%と公共事業6.5%ぐらいで、増税前の駆け込み需要と莫大な借金による一時的なものに過ぎず、それ自体が後で景気反動の要因になるものです。輸出大企業は軒並み好決算で、トヨタなどは過去最高に迫る利益ですが、販売台数も輸出数量もそろってマイナスで、円安により受取通貨のドル価値が上昇したことと非正規・リストラ効果に過ぎません。
雇用者報酬は16か月連続前年比マイナスで、非正規雇用は過去最高(昨年35.2%)、賃金も月19万8100円から19万6400円へ減額です(直近3年)。
一方で、上位100社の内部留保は3兆5千億円増(直近4年)で、この構造を変えない限り、経済は再生しないことがGDPの上でも明らかになっています。
中小業者の経営は厳しい状況が続いていますが、「潮目の変化」も現れています。1つは、空前のブームとなったNHK「あまちゃん」のように「地元にあるものを磨く」という流れです。堺市長選挙でも、地元の経済・福祉・文化を大切にされた政策が大きく共感を広げ勝利につながりました。阿倍野などでは、「大規模店ばかり栄えても地域は衰退する」と、「バイ・ローカル(地元の商店で買うことが地域にお金が循環し雇用や街の個性もつくる)」を合言葉にした地域住民や中小業者の運動が始まっています。2つ目に、「偽装表示」のように大企業の利益・競争主義のなれの果てが明るみになる中で、お客や取引先との信頼関係を何より大切にして、ほんものを提供する中小業者の「なりわい経営」の値打ちが高まっています。全国の商店街で広がっている「まちゼミ」では、「スーツの選び方」「おいしいお茶の入れ方」「包丁の研ぎ方」など個々の商店の知識や技術などのほんものをお客に教えることがお店と商店街のファンを増やしています。3つ目は、グローバル化の限界も現れてきたことです。世界の大企業は発展途上国の格安の賃金、資源、劣悪な労働環境を利用して先進国の消費者に安い商品をお届けしてきましたが、中国に見られるように貧困格差、賄賂腐敗、環境汚染、民主主義の問題などの矛盾が噴き出しています。国民のデモ、暴動も頻発し、日本との賃金格差も1/5に近づきました。こうした中で大企業の大きなイノベーション(技術革新)だけでなく、中小業者が現場で行う改善、工夫、変化の積み重ねが小さなイノベーションで国際競争に勝てる条件が生まれてきています。また、3・11以後、脱原発・新エネルギーや、暮らし・医療・福祉など生活の質を高めるものづくり市場が広がっています。地元で根差し少量多品種で中小業者が主役になれる市場です。これらの変化は、仲間といっしょにふんばる価値のあるものです。
国会では、国民の知る権利を奪い、国民と運動を弾圧し、戦争する国をつくる秘密保護法案を自公みで強行採決しました。こんな重大法案を突然国会に提出し、わずか2週間の審議で議論を封じるという異常さです。この間、国民の反対運動と世論は急速に広がっており、安倍政権の危険性とみんなや維新が補完勢力であることも明白になりました。消費税とともに怒りの声を広げ、国民各層との連帯も強めるときです。

商工新聞は経営のトント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう
会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までにご集めましょう